

INFORMATION Book

中央公民館
図書室からの
お知らせです

ほん 大好き



中央公民館図書室 ☎42局7200番

今月新しく入りました。

※1月の新刊は、5日（木）からの貸出となります。

📖 一般の本

恋のゴンドラ（作＝東野圭吾）
はだれ雪（作＝葉室 麟）
天子蒙塵（作＝浅田次郎）
自分を操る超集中力（作＝メンタリスト Daigo）
仕事のミスが激減する「手帳」「メモ」「ノート」術（作＝鈴木真理子）
超辛口先生の赤ペン俳句教室（作＝夏井いつき） 他

📖 子どもの本

かがみのサーカス（作＝わたなべちなつ）
コロケです（作＝西村敏雄）
これはすいへいせん（作＝谷川俊太郎）
13階だてのツリーハウス（作＝アンディ・グリフィス）
魔法の箱 トモダチがくれた宝物（作＝ポール・グリフィン）
トリプル・ゼロの算数事件簿（作＝向井湘吾） 他

図書室からのお知らせ

子どもの お話し会



楽しいお話
いっぱい
聞けるよ！

中央公民館内のこどものとしょじつで、お話し会を行います。
親子で聞きに来てみませんか。

- とき 1月14日（土）午前11時から正午まで
- ところ 中央公民館1階「こどものとしょじつ」



とんでもない
作＝鈴木のりたけ



はなのしずく
作＝椿 泉介

僕はどこにでもいる普通の僕の子。僕にしか出来ないこと、僕にしか無いすごい所、そんなのひとも見つかからない僕はサイのよるいの様なりつばな皮がうらやましい。でも実はサイは、うさぎがうらやましい。

うさぎは…。次々と展開される動物たちの悩みとは。自分に無い物はよく見えるけどあったらあったで色々大変。僕は僕で良いんだと感じるまで、いどんなとんでもないが起ころうか。

あおガエルのお母さんが病気になるりました。お母さんの病気を治す為にケロは薬を探しにかけました。誰か良い薬を知りませんか。そんな時、フクロウのおじいさんが厚い本をめぐってつゆくさの花から、したたり落ちる青いしずくが良いた事を教えてくれました。ケロは野原を、山を森をつゆくさの花を探してさまよいます。心がキュンとなる一冊です。

本は知識を深めるだけでなく、人と人とのつながりを広げてくれます。新たな本との出会いは新たな人との出会いの始まり。広がる本だなどでは、新たな本との出会いの場として、毎月おすすめの本を2冊紹介します。今月の紹介者は松下のり子さんです。

広がる本だなど

Dr. 福田の

調子はいかが？

くらで病院 ☎42局1231番

くらで病院スタッフ
からの健康
アドバイスです



この時期になるとよく耳にする「マイコプラズマ感染症」
について教えてください。(35歳・女性)

マイコプラズマとは

マイコプラズマは、正式には *Mycoplasma pneumoniae* (肺炎マイコプラズマ) という名

前の病原体で、生物学的には細菌の仲間です。肺炎や気管支炎の原因となる細菌の一つです。他の細菌と異なる性質を持ち、通常よく使われる抗菌薬(ペニシリン系やセフェム系抗菌薬)が効きません。

日本では1年を通して感染の報告がみられますが、晩秋から早春にかけて報告数が多くなります。マイコプラズマ感染をおこしやすい年齢は幼児期、学童期、青年期で、最も報告が多い年齢は7〜8歳です。日本では従来4年周期でオリソピックのある年に流行を繰り返していました(1984年と

1988年)。近年この傾向は崩れつつありましたが、リオデジャネイロオリソピックが開催された今年、全国的な流行がみられました。

感染から発症までの経過

マイコプラズマの潜伏期は2〜3週間程度といわれています。マイコプラズマ感染症の人と接触してもすぐには症状が出ず、2〜3週間後に症状が出てきます。発熱で発症し、1〜2日遅れてせきが出てきてだんだん強まっていくなりのが典型的な経過です。

せきは最初は乾いたせき(空せき)ですがだんだん痰(たん)がからんできます。頭痛、だるさ、喉の痛みを伴うことも多く、初期にはかぜと診断されることがあります。解熱後も3〜4週間

せきが長びくことがあります。

風邪やぜんそくとの見分け方・診断方法

マイコプラズマ感染が疑われるのは次のような場合です。

① 家族内にマイコプラズマ感染症の人がいる場合
② 通っている保育園、幼稚園、小学校、中学校でマイコプラズマ感染が流行している場合

③ 長期間せきが続く場合

④ ぜんそく患者がいつもの治療を行ったにもかかわらずゼイゼイが長引いたり、発作を繰り返す場合

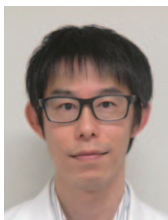
⑤ ペニシリン系やセフェム系抗菌薬を使用しても発熱や咳がなかなか治らない場合

診断方法には主に喉の奥を綿棒で擦って診断するものと、

血液検査で診断するものがあります。医療機関によって可能な検査は異なり、検査法によっては検査当日に結果が出ないものがあります。

治療法と予防法

マイコプラズマ感染症は抗菌薬による治療が基本です。ただし、通常よく使われるペニシリン系やセフェム系抗菌薬は効きませんので、マクロライド系やテトラサイクリン系、ニューキノロン系抗菌薬が用いられます。特別な予防法はないため、流行期には手洗い、うがい、マスク着用などの一般的な感染症予防を行い、感染者との接触をなるべく避けるようにしましょう。



アドバイザー

福田智文さん・ふくだともみ・平成19年産業医科大学医学部卒業。北九州総合病院、西日本産業衛生会等での勤務を経て、現在産業医科大学病院勤務。日本小児科学会小児科専門医。毎週月曜日にくらで病院小児科に勤務。

いつもの風邪とは違う乾いたせきや長引くせきがある場合は、
マイコプラズマ感染症の可能性があります。通常よく使われる抗
菌薬では効き目がありませんので病院で診察を受けましょう。

